科目名	音楽Ⅰ			単位数	2	履修区分	選択必履修
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	音楽Ⅰ　改訂版　Tutti＋ （大修館書店）		
履修の条件							
先生からのアドバイス	歌や器楽、音楽鑑賞などの音楽活動を中心に行っていきます。音楽が好きな人は是非受講してください。						

評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観点の内容		様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価:Bに到達していない。	音楽の様々な要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価:Bに到達していない。	音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価:Bに到達していない。
評価方法	小テスト	○	○	ー
	提出物の状況	○	○	○
	学習状況の観察	○	○	○

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	オリエンテーション 歌唱曲	・様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表すことができている。	・音楽の様々な要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもつことができている。	・音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むことができている。
	5	合唱曲（2部合唱）			
	6	ミュージカル鑑賞			
	7	楽器リコーダー			
	9	日本歌曲			
後期	10	楽器（ギター）	・様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表すことができている。	・音楽の様々な要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもつことができている。	・音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むことができている。
	11	アジア諸国の音楽			
	12	西洋音楽史			
	1	日本の伝統音楽			
	2	合唱曲（三部合唱）			
	3				

科目名	音楽Ⅱ			単位数	2	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	音楽Ⅱ　改訂版　Tutti＋ （大修館書店）		
履修の条件	音楽Ⅰを履修した後に履修すること。						
先生からのアドバイス	音楽Ⅰでの活動に続いて、より表現力をつけていきます。						

評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観点の内容		様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価:Bに到達していない。	音楽の様々な要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価:Bに到達していない。	音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価:Bに到達していない。
評価方法	小テスト	○	○	ー
	提出物の状況	○	○	○
	学習状況の観察	○	○	○

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	オリエンテーション アヴェ・マリア 聞き比べ	・様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表すことができている。	・音楽の様々な要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもつことができている。	・音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むことができている。
	5	日本歌曲 日本の音風景			
	6	音楽をつくろう			
	7	英語でポップスを歌う アンサンブル			
	9	ドイツ歌曲の魅力 フランスの歌			
後期	10	名曲ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ アンサンブル 吹奏楽の魅力	・様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表すことができている。	・音楽の様々な要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもつことができている。	・音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むことができている。
	11	オーケストラの魅力 混声合唱			
	12	名作ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝⅡ			
	1	物語と音楽との関わり			
	2	世界の様々な音楽 コンサートを聞こう			
	3				

科目名	美術Ⅰ			単位数	2	履修区分	選択必履修
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	美術1 (光村図書出版)		
履修の条件							
先生からのアドバイス	年間を通して色々な分野の制作活動を行いたいとおもいます。創作活動を通じて自分を表現してみたい人、是非受講してください。						

評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観点の内容		形や色、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、身近なものやそれらを描いた作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価:Bに到達していない。	身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価:Bに到達していない。	音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価:Bに到達していない。
評価方法	提出物	○	○	○
	学習状況等の観察	○	○	○

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	身近なものを描く 【表現（絵画・彫刻）】	・形や色などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、わかりやすく効果的な伝達のデザインを、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	・伝える情報の内容や相手などから主題を生成し、単純化や省略、強調などの効果や、わかりやすさと美しさの調和などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができている。	・主体的に身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組むことができている。
	5				
	6	マークやサインで伝える 【表現（デザイン）】			
	7				
	9	樹や点で描く 【鑑賞（絵画・彫刻）】			
後期	10	鉛筆で描く 【表現（絵画・彫刻）】	・形や色などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、わかりやすく効果的な伝達のデザインを、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	・伝える情報の内容や相手などから主題を生成し、単純化や省略、強調などの効果や、わかりやすさと美しさの調和などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができている。	・主体的に身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組むことができている。
	11	人物を撮影する 【表現（映像メディア表現）】			
	12	比べて鑑賞する			
	1	組み合わせる 【鑑賞（絵画・彫刻）】			
	2	パッケージのデザイン 【表現（デザイン）】 アニメーションをつくる			
	3	【表現（映像メディア表現）】			

科目名	美術Ⅱ			単位数	2	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	美術2 (光村図書出版)		
履修の条件	美術Ⅰを履修した後に履修すること。						
先生からのアドバイス	美術Ⅰで学んだ基礎をいかして、さらに発展させた課題にチャレンジしてみましょう。						

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観点の内容	形や色、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、身近なものやそれらを描いた作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価:Bに到達していない。	身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価:Bに到達していない。	音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価:Bに到達していない。
評価方法 提出物	○	○	○
評価方法 学習状況等の観察	○	○	○
評価方法			
評価方法			

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	人物を描く 【表現（絵画・彫刻）】	・形や色などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、わかりやすく効果的な伝達のデザインを、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	・伝える情報の内容や相手などから主題を生成し、単純化や省略、強調などの効果や、わかりやすさと美しさの調和などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができている。	・主体的に身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組むことができている。
	5				
	6	トータルデザインで考える 【表現（デザイン）】			
	7				
	9	風景を撮影する 【映像メディア表現】			
後期	10	心の中の風景 【絵画・彫刻】	・形や色などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、わかりやすく効果的な伝達のデザインを、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	・伝える情報の内容や相手などから主題を生成し、単純化や省略、強調などの効果や、わかりやすさと美しさの調和などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができている。	・主体的に身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組むことができている。
	11	問題解決のためのデザイン 【デザイン】			
	12	版表現の可能性 【絵画・彫刻】			
	1	ミュージックビデオをつくる 【映像メディア表現】			
	2				
	3				

科目名	書道Ⅰ			単位数	2	履修区分	必履修
対象の部			夜間部	使用教科書 教材	書道Ⅰ (東京書籍)		
履修の条件							
先生からのアドバイス	前期は硬筆を中心に、まず「五十音」の書き順とバランスの確認をします。後期は筆（筆ペン）を使用して楷書の基本を確認し、自分で選んだ言葉や詩文で創作まで行います。短い時間ですが、集中して「文字を書く」ことで自分と向き合う時間としてください。						

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観点の内容	書の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 書写能力を向上させ、作品を効果的に表現する基礎的な身に着け、表している。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価:Bに到達していない。	書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えている。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価:Bに到達していない。	音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価:Bに到達していない。
評価方法 学習状況の観察	◎	○	○
評価方法 プリント	△	○	◎
評価方法 提出物	◎	◎	◎
評価方法			

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	オリエンテーション	・書に興味関心を持ち、積極的、主体的に授業に参加する態度を持てている。	・身の回りの書に触れ、美を見いだすことができる。 ・名品について理解し、その良さを見いだすことができる。 ・自分の作品を通して、自分の思考や感動を表現することができる。	・学んだことを活かし、字のバランスやまとまりを考えて積極的に創作に取り組むことができる。 ・文房四宝について理解し、正しく用いることができる。さまざまな作品を味わい、鑑賞することができる。
	5	楷書（硬筆）			
	6	楷書（硬筆）			
	7	楷書（硬筆で様々な文章を書こう）			
	9	楷書（硬筆で様々な文章を書こう）			
後期	10	毛筆を学ぶ（オリエンテーション）	・個性を生かして、主体的に制作に取り組む態度を持てている。	・自分や友達の作品を見て、良さを見いだし、評価することができる。	・より効果的な表現方法を考え、的確な技法を用いて、制作することができる。また様々な表現方法を知り、創作に活かすことができる。
	11	「永字八法」を学ぶ			
	12	「永字八法」を学ぶ			
	1	創作			
	2	創作			
	3	創作			

科目名	コーラス			単位数	2	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	コールユーブンゲン (音楽之友社)		
履修の条件	音楽に関心があり、歌う意欲があること。						
先生からのアドバイス	歌うことを楽しみましょう。いろいろなジャンルの曲に挑戦していきましょう。						

評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観点の内容		歌唱に興味・関心を持ち、積極的に授業に取り組むことができる。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価:Bに到達していない。	様々な音楽を通じて、感性や想像力を膨らませることができる。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価:Bに到達していない。	音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価:Bに到達していない。
評価方法	テスト	◎	◎	ー
	提出物の状況	○	○	○
	学習状況の観察	○	○	○

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	発声の基礎 （発声法・呼吸）	・歌唱に興味・関心を持ち、積極的に授業に取り組むことができている。	・様々な音楽を通じて、感性や想像力を膨らませることができている。	・歌唱に興味・関心を持ち、積極的に授業に取り組むことができている。
	5	斉唱 （音域を広げる）			
	6	ソルフェージュ （読譜・斉唱の基礎）			
	7	二部合唱			
	9	グループ唱 （パート練習）			
後期	10	合唱曲 （発表に向けて）	・歌唱に興味・関心を持ち、積極的に授業に取り組むことができている。	・様々な音楽を通じて、感性や想像力を膨らませることができている。	・歌唱に興味・関心を持ち、積極的に授業に取り組むことができている。
	11	文化祭発表			
	12	第九を歌おう			
	1	独唱曲に挑戦			
	2	合唱曲			
	3	１年間のまとめ			

科目名	伝統工芸			単位数	2	履修区分	自由選択
対象の部	午前部			使用教科書 教材	結城紬後継者育成研修テキスト (茨城工業技術センター繊維工業指導所)		
履修の条件	履修可能人数3～20名						
先生からのアドバイス	手織りと機械織りの違いを、体験を通して感じてください。地域の伝統工芸の技法を継承する方々と交流し、地元への誇りや愛着を持ってください。						

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観点の内容	意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や質感などの表現を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価:Bに到達していない。	身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価:Bに到達していない。	音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価:Bに到達していない。
評価方法 提出物	○	○	○
評価方法 学習状況等の観察	○	○	○
評価方法			
評価方法			

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	糸取り	・意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や質感などの表現を工夫し、主題を追求して創造的に表現している。	・身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	・主体的に身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。
	5				
	6	機織り			
	7				
	9				
後期	10		・意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や質感などの表現を工夫し、主題を追求して創造的に表現している。	・身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	・主体的に身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。
	11	桐下駄			
	12	機織り			
	1				
	2				
	3				

科目名	陶芸Ⅰ			単位数	2	履修区分	自由選択
対象の部	午前部	午後部		使用教科書 教材	本校作成プリント等		
履修の条件	履修可能人数3～12名						
先生からのアドバイス	無心になって土をこね、一つの作品を生み出す達成感や喜びを味わってほしいと思います。また、集中力・粘り強さを養うこともできます。						

評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観点の内容		意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や質感などの表現を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価:Bに到達していない。	身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価:Bに到達していない。	音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価:Bに到達していない。
評価方法	提出物	○	○	○
	学習状況等の観察	○	○	○

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	土練り	・意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や質感などの表現を工夫し、主題を追求して創造的に表現している。	・身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	・主体的に身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。
	5	湯呑み茶碗			
	6	花瓶			
	7				
	9				
後期	10	ランプ	・意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や質感などの表現を工夫し、主題を追求して創造的に表現している。	・身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	・主体的に身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。
	11	ろくろ			
	12				
	1	自由制作			
	2				
	3				

科　目　名	陶芸Ⅱ			単位数	2	履修区分	自由選択
対　象　の　部	午前部	午後部		使用教科書 教　材	本校作成プリント等		
履　修　の　条　件	陶芸Ⅰを修得済みであること。 履修可能人数3～12名						
先生からの アドバイス	作品展に出展するための作品づくりをします。陶芸Ⅰの応用で、いろいろな角度でものを見て、自己表現にむすびつけていってほしいと思います。						

評　価　の　観　点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
観　点　の　内　容		意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や質感などの表現を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価:Bに到達していない。	身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価:Bに到達していない。	音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 A評価:評価規準の全項目について、身に付けている。 B評価:評価規準の一部項目について、身に付けている。 C評価:Bに到達していない。
評価方法	提出物	○	○	○
	学習状況等の観察	○	○	○

学期	月	学習内容（単元名）	評価規準		
前期	4	自由制作	・意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や質感などの表現を工夫し、主題を追求して創造的に表現している。	・身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	・主体的に身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。
	5				
	6				
	7				
	9				
後期	10	ろくろ	・意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や質感などの表現を工夫し、主題を追求して創造的に表現している。	・身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	・主体的に身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。
	11				
	12				
	1				
	2				
	3				